



～笑顔を未来につなげよう セーフコミュニティ“こおりやま”～

セーフコミュニティ通信

第5号



発行 平成28年6月 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

拡大版!

～シリーズ～ データから郡山市をみてみよう

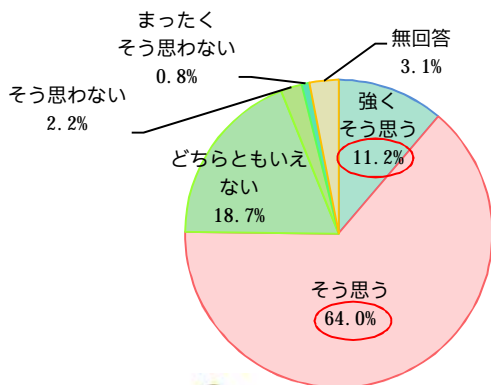
現在、6つの分野別対策委員会は、郡山市におけるけがや事故に関する様々なデータを分析し、各分野ごとに取り組むべき重点課題を決定したところです。

今後は、重点課題を解決するための具体的な取り組みを展開していく訳ですが、今回は市民の皆様が、けがや事故についてどのように感じているのか、データから検証します。

【安全・安心なまちづくりのための意識調査（平成26年12月実施）から】

回答数、回収率 : (世帯票) 配布数 4,000 回収数 1,464 回収率 36.6%
 (個人票) 配布数 8,796 回収数 2,644 回収率 30.1%

住民の地域課題に取り組むことの重要性について

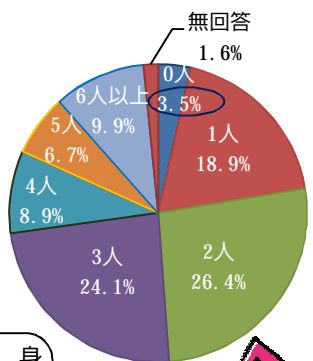


	人数	割合(%)
強くそう思う	164	11.2
そう思う	937	64.0
どちらともいえない	274	18.7
そう思わない	32	2.2
まったくそう思わない	12	0.8
無回答	45	3.1
合計	1,464	100.0



7割以上の方が、住民の地域課題に取り組むことの重要性を感じているんだね。

けがや病気の時、身の回りの手助けしてくれる人の人数について



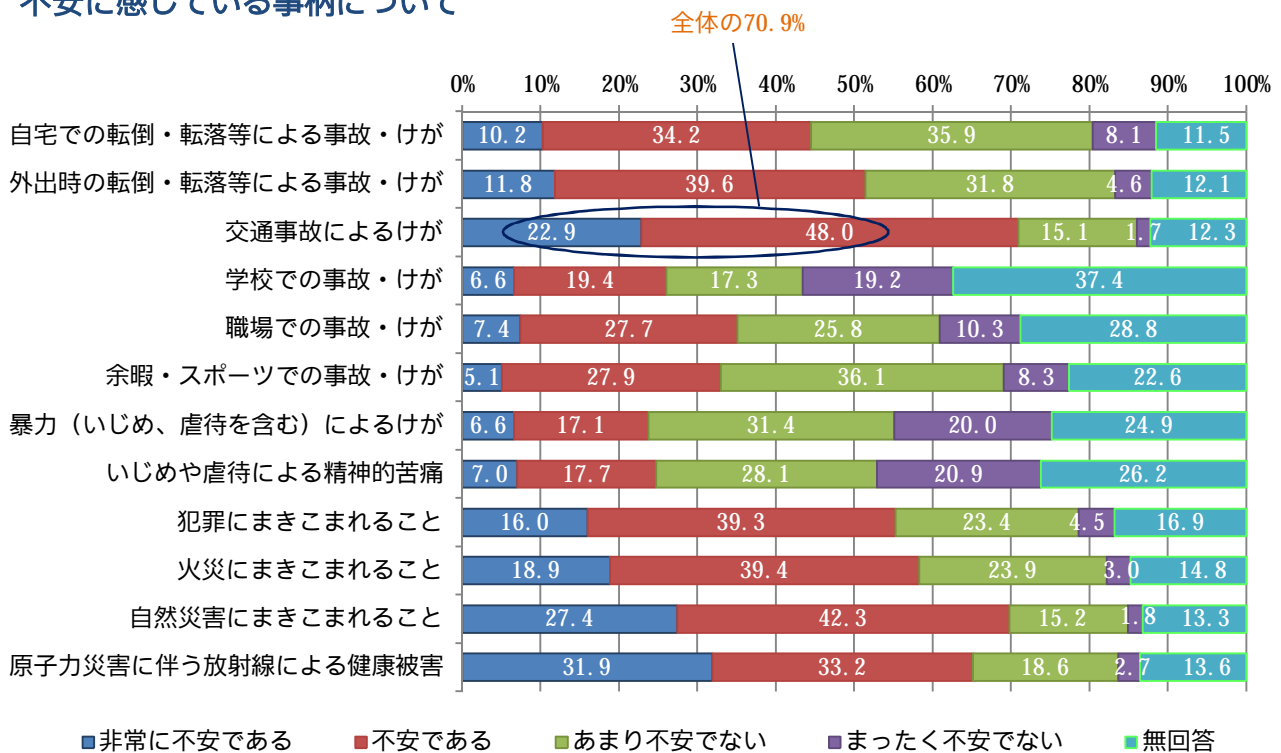
	人数	割合(%)
0人	93	3.5
1人	499	18.9
2人	698	26.4
3人	636	24.1
4人	236	8.9
5人	177	6.7
6人以上	263	9.9
無回答	42	1.6
合計	2,644	100.0

けがや病気の時、身の回りの手助けしてくれる人が、「0人」という人は3.5%もいるんだね。



みんなで共に助け合いましょ!

不安に感じている事柄について



やっぱり交通事故によるけがに対して不安を抱いてる人が多いんだね。

自然災害や原子力災害に不安を抱いてる人も多いね。



不安の大きさにおける順位

順位	項目	割合(%)※
1	交通事故によるけが	70.9
2	自然災害にまきこまれること	69.7
3	原子力災害に伴う放射線による健康被害	65.1
4	火災にまきこまれること	58.3
5	犯罪にまきこまれること	55.3
6	外出時の転倒・転落等による事故・けが	51.4
7	自宅での転倒・転落等による事故・けが	44.4
8	職場での事故・けが	35.1
9	余暇・スポーツでの事故・けが	33.0
10	学校での事故・けが	26.0
11	いじめや虐待による精神的苦痛	24.7
12	暴力（いじめ、虐待を含む）によるけが	23.7

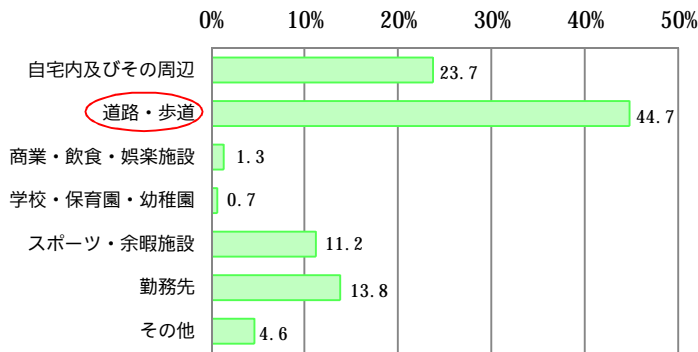
※ 割合は「非常に不安である」「不安である」と回答した方の合算による

事故やけがをした場所と種類について

学生以外の15歳～64歳の方の過去1年間の事故やけがをした場所は、「道路・歩道」が44.7%と最も高く、次いで「自宅内及びその周辺」が23.7%となっています。

また、事故やけがの種類は、「交通事故（車や自転車との接触・衝突）」が39.5%と最も高く、次いで「転倒・転落（交通事故以外）」が35.5%となっています。

【事故やけがをした場所】 15歳～64歳



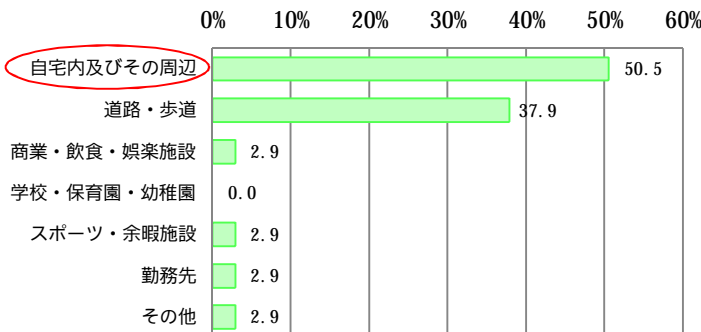
【事故やけがの種類】 15歳～64歳

種類	人数	割合 (%)
交通事故（車や自転車との接触・衝突）	60	39.5
転倒・転落（交通事故以外）	54	35.5
ドアやものによる挟まれ・加圧・打撲など	12	7.9
虫や動物による刺し傷・咬傷	4	2.6
火や熱湯などによるやけど	7	4.6
異物などの誤飲	0	0.0
暴力によるけが（犯罪や虐待の被害を含む）	0	0.0
その他	15	9.9
合計	152	100.0

なお、65歳以上の方の過去1年間の事故やけがをした場所は、「自宅内及びその周辺」が50.5%と最も高く、次いで「道路・歩道」が37.9%となっています。

また、事故やけがの種類は、「転倒・転落（交通事故以外）」が60.2%と最も高く、次いで「交通事故（車や自転車との接触・衝突）」が30.1%となっています。

【事故やけがをした場所】 65歳以上の方



【事故やけがの種類】 65歳以上の方

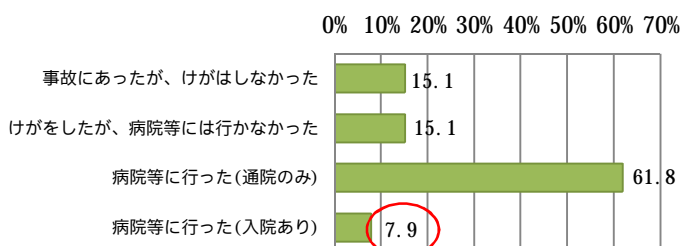
種類	人数	割合 (%)
交通事故（車や自転車との接触・衝突）	31	30.1
転倒・転落（交通事故以外）	62	60.2
ドアやものによる挟まれ・加圧・打撲など	2	1.9
虫や動物による刺し傷・咬傷	1	1.0
火や熱湯などによるやけど	1	1.0
異物などの誤飲	0	0.0
暴力によるけが（犯罪や虐待の被害を含む）	0	0.0
その他	6	5.8
合計	103	100.0

学生以外の15歳～64歳の方と65歳以上の方では、事故やけがの場所や種類に若干の違いがあるね。

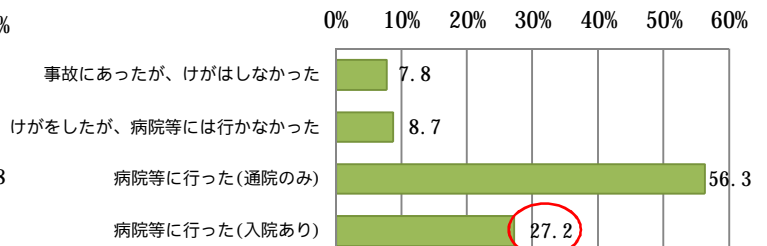
65歳以上の方は事故やけがをした場合、15歳～64歳の方に比べて、病院で治療を受ける方が3倍以上も多いんだね。

【治療の有無】

◆ 15歳～64歳

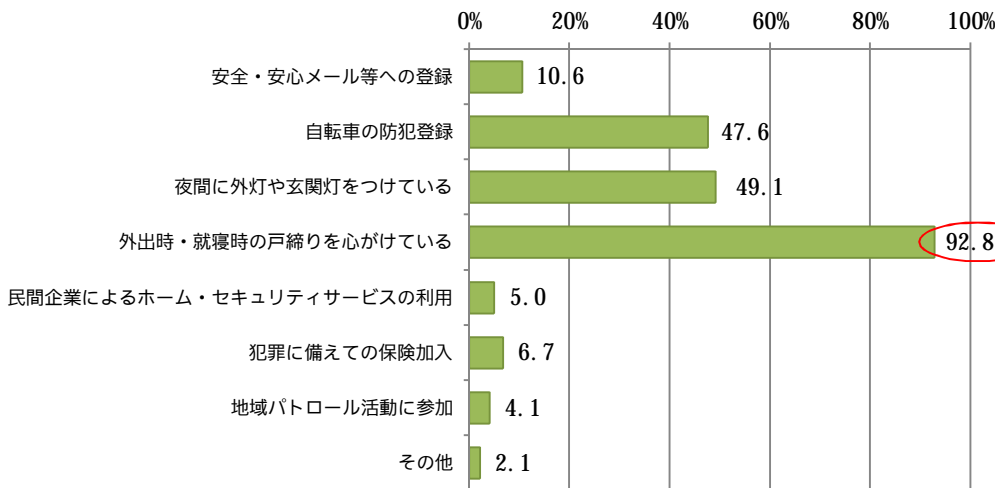


◆ 65歳以上の方



高齢になるにつれ、けがの程度が重傷化することが、このグラフから分かります。

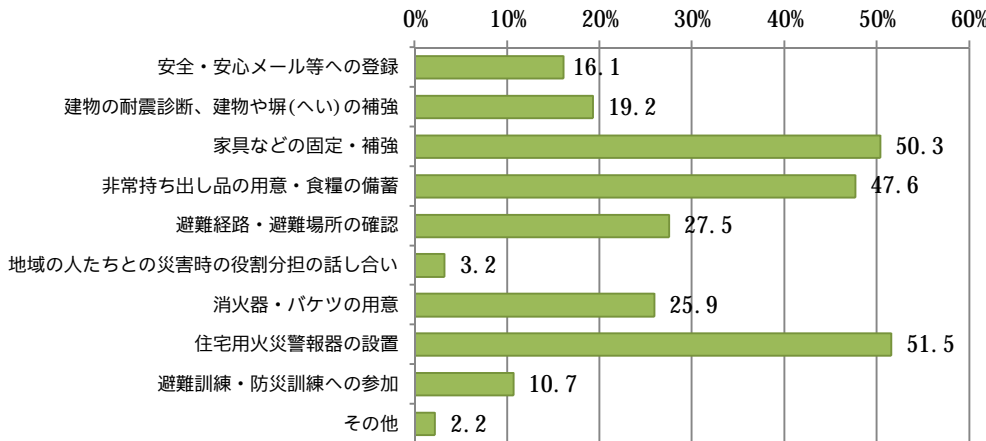
犯罪対策について (回答者1,308人 複数回答)



「外出時・就寝時の戸締りを心がけている」が92.8%と最も高いけど、犯罪防止のためにも100%を目指したいね。



家庭での災害対策について (回答者1,190人 複数回答)



いざという場合に備え、「住宅用火災警報器の設置」「家具などの固定・補強」「非常持ち出し品の用意・食糧の備蓄」は必要だね!

今後の会議開催予定

○第11回分野別対策委員会

平成28年7月12日(火)

○第12回分野別対策委員会

平成28年8月4日(木)

会場：市役所本庁舎 2階 正庁

(午前9時30分～11時30分) 交通安全、防犯、防災・環境安全の各対策委員会

(午後1時30分～3時30分) こどもの安全、高齢者の安全、自殺予防の各対策委員会

発行 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

〒963-8601

福島県郡山市朝日一丁目23番7号

事務局 郡山市市民部市民安全課セーフコミュニティ推進室

電話 024-924-2151 Fax 024-921-1340

e-mail si.minanzen@city.koriyama.fukushima.jp

今までのセーフコミュニティ通信はこちらから→

